



2022年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年4月8日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <https://www.kewpie.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 高宮 満
 問合せ先責任者 (役職名) 経営推進本部長 (氏名) 北川 岳史 TEL 03-3486-3331
 四半期報告書提出予定日 2022年4月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年11月期第1四半期の連結業績（2021年12月1日～2022年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年11月期第1四半期	100,536	6.9	6,732	6.5	7,151	8.3	4,455	△1.5
2021年11月期第1四半期	94,088	△29.3	6,324	23.9	6,605	25.0	4,521	76.9

(注) 包括利益 2022年11月期第1四半期 6,752百万円 (10.6%) 2021年11月期第1四半期 6,103百万円 (111.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年11月期第1四半期	32.05	—
2021年11月期第1四半期	31.70	—

(注) 2021年11月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年11月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年11月期第1四半期	369,542	272,344	67.1
2021年11月期	381,003	269,301	64.5

(参考) 自己資本 2022年11月期第1四半期 247,786百万円 2021年11月期 245,640百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年11月期	—	20.00	—	27.00	47.00
2022年11月期	—	—	—	—	—
2022年11月期（予想）	—	20.00	—	27.00	47.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年11月期の連結業績予想（2021年12月1日～2022年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	415,000	2.0	26,000	△7.0	27,700	△6.7	15,700	△12.8	112.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2022年11月期 1 Q	141,500,000株	2021年11月期	141,500,000株
2022年11月期 1 Q	2,495,455株	2021年11月期	2,495,090株
2022年11月期 1 Q	139,004,737株	2021年11月期 1 Q	142,635,869株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(企業結合等関係)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループは、新型コロナウイルス感染症や国際的な穀物相場高騰による原料価格の上昇などの影響を受ける中、国内では市場担当制を活かしお客様の多様化するニーズに対応するとともに原料相場に左右されない強い体質への転換に取り組んでいます。海外では、中国・東南アジア・北米を中心に、それぞれの地域の食文化への浸透を加速させ、成長ドライバーとして拡大を進めています。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、海外での売上伸長に加え、業務用において外食需要が回復傾向にあったことから増収となりました。営業利益は、主原料高騰による影響を受けたものの、売上増加や昨年実施した価格改定の増収効果により増益となりました。経常利益は、営業利益の増加により増益となりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年度に計上した生産再編に伴う資産売却益の減少などにより減益となりました。

当第1四半期連結累計期間の連結業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	当第1四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	増減 (金額)	増減 (比率)
売上高	94,088	100,536	6,448	6.9%
営業利益	6,324	6,732	408	6.5%
経常利益	6,605	7,151	546	8.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,521	4,455	△66	△1.5%

(注) 2021年11月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2021年11月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	当第1四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	40,872	42,642	1,770	4.3%
業務用	33,861	35,981	2,120	6.3%
海外	12,121	14,314	2,193	18.1%
フルーツ ソリューション	3,847	3,726	△121	△3.1%
ファインケミカル	1,938	2,471	533	27.5%
共通	1,447	1,400	△47	△3.2%
合計	94,088	100,536	6,448	6.9%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第1四半期 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	当第1四半期 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)	増減 (金額)	増減 (比率)
市販用	4,155	4,006	△149	△3.6%
業務用	1,462	1,771	309	21.1%
海外	1,862	1,895	33	1.8%
フルーツ ソリューション	32	37	5	15.6%
ファインケミカル	△168	42	210	—
共通	291	382	91	31.3%
全社費用	△1,312	△1,402	△90	—
合計	6,324	6,732	408	6.5%

<市販用>

- ・新型コロナウイルス感染症による巣ごもり需要の継続で主力商品が堅調に推移し増収
- ・売上増加や生産性の向上に努めたものの、主原料高騰による影響を受け減益

<業務用>

- ・新型コロナウイルス感染症拡大による外食需要低迷の影響が前年度より回復し増収
- ・主原料高騰による影響を受けたものの、売上増加や付加価値品の伸長により増益

<海外>

- ・中国・東南アジアを中心に業務用の売上高が伸長し増収
- ・主原料高騰による影響を受けたものの、売上増加や付加価値品の伸長により増益

<フルーツ ソリューション>

- ・家庭用ジャム・スプレッドは巣ごもり需要に支えられながらも価格改定の影響もあり減収となったが、販管費の抑制などにより増益

<ファインケミカル>

- ・ヒアルロン酸の原料販売や通信販売が好調に推移し増収増益

<共通>

- ・食品メーカー向け製造機械の販売減少により減収となったが、売上総利益の改善などにより増益

(2) 財政状態に関する説明

◇ 総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,695億42百万円と前連結会計年度末に比べ114億61百万円減少
主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少による
- ・負債は、971億97百万円と前連結会計年度末に比べ145億5百万円減少
主に短期借入金、流動負債のその他に含まれる未払金の減少による
- ・純資産は、2,723億44百万円と前連結会計年度末に比べ30億43百万円増加
主に利益剰余金、為替換算調整勘定、非支配株主持分の増加による

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月11日に公表した連結業績および配当予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表および主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	58,343	47,839
受取手形及び売掛金	56,875	54,377
有価証券	10,000	10,000
商品及び製品	18,277	18,608
仕掛品	1,369	1,091
原材料及び貯蔵品	10,419	11,360
その他	2,303	2,901
貸倒引当金	△137	△114
流動資産合計	157,451	146,065
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	157,939	157,557
減価償却累計額	△93,161	△93,260
建物及び構築物（純額）	64,777	64,297
機械装置及び運搬具	149,308	149,352
減価償却累計額	△106,897	△107,580
機械装置及び運搬具（純額）	42,411	41,772
土地	30,850	30,868
建設仮勘定	2,488	2,464
その他	18,060	18,044
減価償却累計額	△12,054	△12,156
その他（純額）	6,005	5,888
有形固定資産合計	146,532	145,290
無形固定資産		
のれん	552	502
その他	12,751	13,250
無形固定資産合計	13,303	13,752
投資その他の資産		
投資有価証券	43,629	43,556
退職給付に係る資産	11,128	11,797
その他	9,078	9,199
貸倒引当金	△120	△119
投資その他の資産合計	63,715	64,433
固定資産合計	223,552	223,477
資産合計	381,003	369,542

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,015	27,831
短期借入金	11,591	1,904
未払法人税等	4,182	2,386
引当金	1,587	2,856
その他	25,823	22,147
流動負債合計	71,199	57,126
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	16,356	16,285
退職給付に係る負債	2,750	2,794
資産除去債務	221	222
その他	11,173	10,768
固定負債合計	40,502	40,070
負債合計	111,702	97,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	28,632	28,627
利益剰余金	194,015	194,718
自己株式	△5,838	△5,839
株主資本合計	240,913	241,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,690	8,702
繰延ヘッジ損益	8	6
為替換算調整勘定	△962	140
退職給付に係る調整累計額	△3,008	△2,673
その他の包括利益累計額合計	4,727	6,176
非支配株主持分	23,660	24,558
純資産合計	269,301	272,344
負債純資産合計	381,003	369,542

(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)
売上高	94,088	100,536
売上原価	64,600	69,845
売上総利益	29,487	30,691
販売費及び一般管理費	23,163	23,958
営業利益	6,324	6,732
営業外収益		
受取利息	28	52
受取配当金	147	174
持分法による投資利益	102	187
その他	226	158
営業外収益合計	505	572
営業外費用		
支払利息	60	55
開業費	69	—
その他	94	98
営業外費用合計	224	153
経常利益	6,605	7,151
特別利益		
投資有価証券売却益	1	248
固定資産売却益	416	1
関係会社株式売却益	291	—
その他	41	—
特別利益合計	750	250
特別損失		
固定資産除却損	161	170
組織再編費用	—	92
固定資産売却損	64	0
その他	16	13
特別損失合計	242	277
税金等調整前四半期純利益	7,114	7,124
法人税等	2,118	2,200
四半期純利益	4,995	4,923
非支配株主に帰属する四半期純利益	474	468
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,521	4,455

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年12月1日 至 2021年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年12月1日 至 2022年2月28日)
四半期純利益	4,995	4,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	266	△8
繰延ヘッジ損益	25	△4
為替換算調整勘定	616	1,398
退職給付に係る調整額	132	376
持分法適用会社に対する持分相当額	65	67
その他の包括利益合計	1,107	1,828
四半期包括利益	6,103	6,752
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,430	5,904
非支配株主に係る四半期包括利益	672	848

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しています。

当社グループでは、商品または製品の国内販売において「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、出荷時から当該商品または製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高に与える影響は軽微であり、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、流動負債の引当金科目に表示していた「売上割戻引当金」は、当第1四半期連結会計期間から返金負債として流動負債の「その他」に含めて表示しています。

なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載していません。

時価の算定に関する会計基準等の適用

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）

等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。これによる四半期連結財務諸表への影響はありません。

（企業結合等関係）

比較情報における取得原価の当初配分額の重要な見直し

2020年11月2日に行われた当社の連結子会社である株式会社キューソー流通システムとKIAT ANANDA グループ（PT Kiat Ananda Cold Storage、PT Ananda Solusindo、PT Manggala Kiat Ananda および PT Trans Kontainer Solusindo）の企業結合について、前々連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、前連結会計年度に確定しました。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、前連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されています。

この結果、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響は軽微です。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2020年12月1日 至 2021年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
外部顧客への 売上高	40,872	33,861	12,121	3,847	1,938	1,447	94,088	—	94,088
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	174	1,227	95	45	105	2,682	4,331	△4,331	—
計	41,047	35,089	12,216	3,892	2,044	4,129	98,419	△4,331	94,088
セグメント利益 又は損失（△）	4,155	1,462	1,862	32	△168	291	7,636	△1,312	6,324

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△1,312百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2021年12月1日 至 2022年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	市販用	業務用	海外	フルーツ ソリューション	ファイン ケミカル	共通	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	42,642	35,981	14,314	3,726	2,471	1,400	100,536	—	100,536
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	42,642	35,981	14,314	3,726	2,471	1,400	100,536	—	100,536
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	188	1,228	467	53	84	2,957	4,979	△4,979	—
計	42,830	37,210	14,781	3,780	2,555	4,357	105,516	△4,979	100,536
セグメント利益	4,006	1,771	1,895	37	42	382	8,135	△1,402	6,732

(注)1. セグメント利益の調整額△1,402百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費に係る費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用しています。これによる各報告セグメントへの影響は軽微です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。